

埼玉医科大学(前期) 数学

2020年 1月25日実施

1

問1 a, b は $1 < b \leq a$ を満たす実数である. $\log_a b + \log_b a = \frac{9}{2}$ のとき,

$$\log_a b = \frac{\boxed{1} - \sqrt{\boxed{2} \boxed{3}}}{\boxed{4}}$$

である.

問2 リンゴが25個, ミカンが19個, ナシが16個ある. これらの果物すべてを50人に配ったところ, リンゴだけをもらった人は13人, ミカンだけをもらった人は9人, ナシだけをもらった人は6人であった. リンゴ, ミカン, ナシのすべてをもらった人は最大で $\boxed{5}$ 人であり, 1つも果物をもらえなかった人は最大で $\boxed{6}$ $\boxed{7}$ 人である. ただし, 同じ人が同じ種類の果物を2個以上もらうことはできないものとする.

問3 4辺のうち, 3辺の長さが a である台形の面積の最大値は $\frac{\boxed{8} \sqrt{\boxed{9}}}{\boxed{10}} a \boxed{11}$ である.

解答

問1 $\log_a b = X$ とおく, a, b は $1 < b \leq a$ を満たすので, $0 < X \leq 1$ である.

底を変換すると, $\log_a b + \frac{1}{\log_a b} = \frac{9}{2}$. したがって,

$$\begin{aligned} X + \frac{1}{X} &= \frac{9}{2} \\ \Leftrightarrow 2X^2 - 9X + 1 &= 0 \\ \Leftrightarrow X &= \frac{9 \pm \sqrt{65}}{4}. \end{aligned}$$

$$0 < X \leq 1 \text{ より, } X = \frac{9 - \sqrt{65}}{4}.$$

問2 リンゴ, ミカン, ナシを持っているという事象をそれぞれ A, B, C とおく. 同じ人が同じ種類の果物を2個以上もらうことができないので, 条件から,

$$\begin{aligned} n(U) &= 50, n(A) = 25, n(B) = 19, n(C) = 16, \\ n(A \cap \bar{B} \cap \bar{C}) &= 13, n(\bar{A} \cap B \cap \bar{C}) = 9, n(\bar{A} \cap \bar{B} \cap C) = 6. \end{aligned}$$

ここで, リンゴ, ミカン, ナシをすべてもらった人が x 人, 1つも果物をもらえなかった人が y 人いたとする. 式で表すと

$$n(A \cap B \cap C) = x, n(\bar{A} \cap \bar{B} \cap \bar{C}) = y.$$

このとき,

$$\begin{aligned} n(\overline{B} \cap \overline{C}) &= n(A \cap \overline{B} \cap \overline{C}) + n(\overline{A} \cap \overline{B} \cap \overline{C}) \\ &= 13 + y. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} n(\overline{B} \cap C) &= n(\overline{B}) - n(\overline{B} \cap \overline{C}) \\ &= n(U) - n(B) - n(\overline{B} \cap \overline{C}) \\ &= 50 - 19 - (13 + y) \\ &= 18 - y. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} n(A \cap \overline{B} \cap C) &= n(\overline{B} \cap C) - n(\overline{A} \cap \overline{B} \cap C) \\ &= (18 - y) - 6 \\ &= 12 - y. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} n(A \cap B \cap \overline{C}) &= n(A) - n(A \cap B \cap C) - n(A \cap \overline{B} \cap C) - n(A \cap \overline{B} \cap \overline{C}) \\ &= 25 - x - (12 - y) - 13 \\ &= y - x. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} n(B \cap \overline{C}) &= n(A \cap B \cap \overline{C}) + n(\overline{A} \cap B \cap \overline{C}) \\ &= (y - x) + 9 \\ &= y - x + 9. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} n(B \cap C) &= n(B) - n(B \cap \overline{C}) \\ &= 19 - (y - x + 9) \\ &= 10 + x - y. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} n(\overline{A} \cap B \cap C) &= n(B \cap C) - n(A \cap B \cap C) \\ &= (10 + x - y) - x \\ &= 10 - y. \end{aligned}$$

また, $n(C) = n(B \cap C) + n(\overline{B} \cap C)$ であるから,

$$16 = (10 + x - y) + (18 - y) \iff 12 + x - 2y = 0.$$

求めたそれぞれの要素の個数が 0 以上であることを考えて式を整理する. $x = 2y - 12$ を代入すると,

$$13 + y \geq 0 \iff y \geq -13.$$

$$18 - y \geq 0 \iff y \leq 18.$$

$$12 - y \geq 0 \iff y \leq 12.$$

$$y - x \geq 0 \iff y - (2y - 12) \geq 0$$

$$\iff y \leq 12.$$

$$y - x + 9 \geq 0 \iff y - (2y - 12) + 9 \geq 0$$

$$\iff y \leq 21.$$

$$10 + x - y \geq 0 \iff 10 + (2y - 12) - y \geq 0$$

$$\iff y \geq 2.$$

$$10 - y \geq 0 \iff y \leq 10.$$

したがって, $2 \leq y \leq 10$ であるから y の最大値は 10 である.

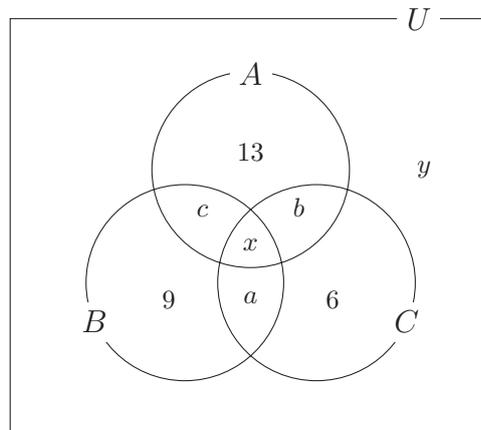
また, $x = 2y - 12$ より $x \geq 0$ と併せて, $0 \leq x \leq 8$, x の最大値は 8 である.

リンゴ, ミカン, ナシのすべてをもらった人は最大で 8 人, 1 つも果物をもらえなかった人は最大で 10 人である.

別解

記号は同じものとする.

$n(\overline{A} \cap B \cap C) = a$, $n(A \cap \overline{B} \cap C) = b$, $n(A \cap B \cap \overline{C}) = c$ とおく. ベン図は次のようになる.



このときそれぞれの果物をもった人の数に注目すると, 次の式が得られる.

$$\begin{cases} x + b + c + 13 = 25 & (\text{リンゴ}) \\ x + c + a + 9 = 19 & (\text{ミカン}) \\ x + a + b + 6 = 16 & (\text{ナシ}) \end{cases}$$

変形して

$$\begin{cases} x + b + c = 12 & (\text{リンゴ}) \\ x + c + a = 10 & (\text{ミカン}) \\ x + a + b = 10 & (\text{ナシ}) \end{cases}$$

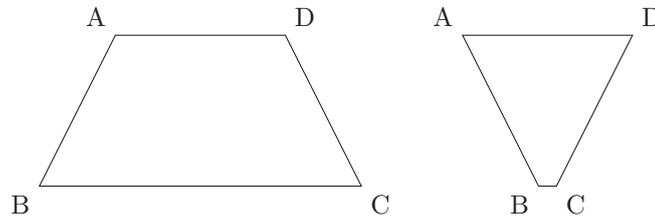
ミカンとナシの式から $b = c$, リンゴとミカンの式から $b = a + 2$ が得られる. こうして $x + 2a = 8$ を得る. 全員で 50 人いたことから

$$\begin{aligned} 50 &= x + a + b + c + 13 + 9 + 6 + y \\ &= x + y + 3a + 32. \end{aligned}$$

$x = 8 - 2a$ を代入してまとめると, $y + a = 10$ を得る.

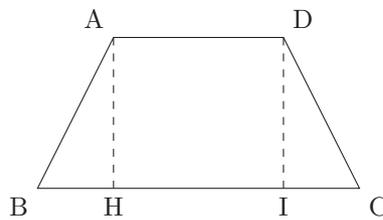
$a \geq 0$ であることから x の最大値は **8**, y の最大値は **10**.

問3 4辺のうち, 3辺の長さが等しい台形は等脚台形である. 図のように $AB = AD = CD = a$ とする.



面積が最大となるのは $AD < BC$ のときに現れる. このとき, $\angle ABC = \theta$ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) とおく. また, 点 A, D から辺 BC に下した垂線の足を H, I とすると,

$$\begin{aligned} BH &= CI \\ &= AB \cos \theta \\ &= a \cos \theta, \\ AH &= AB \sin \theta \\ &= a \sin \theta, \\ BC &= BH + HI + IC \\ &= a(2 \cos \theta + 1). \end{aligned}$$



したがって, 求める面積 $S(\theta)$ は,

$$\begin{aligned} S(\theta) &= \frac{1}{2}(AD + BC) \cdot AH \\ &= \frac{1}{2}\{a + a(2 \cos \theta + 1)\} \cdot a \sin \theta \\ &= a^2 \sin \theta(1 + \cos \theta). \end{aligned}$$

よって

$$\begin{aligned} S'(\theta) &= a^2\{\cos \theta(1 + \cos \theta) + \sin \theta(-\sin \theta)\} \\ &= a^2(\cos \theta + \cos^2 \theta - \sin^2 \theta) \\ &= a^2(2 \cos^2 \theta + \cos \theta - 1) \\ &= a^2(2 \cos \theta - 1)(\cos \theta + 1) \end{aligned}$$

となる. よって増減表は次のようになる.

θ	0	...	$\frac{\pi}{3}$...	$\frac{\pi}{2}$
$S'(\theta)$		+	0	-	
$S(\theta)$		↗	$\frac{3\sqrt{3}}{4}a^2$	↘	

増減表から $\theta = \frac{\pi}{3}$ のとき、最大値 $\frac{3\sqrt{3}}{4}a^2$ をとることがわかる。

別解

最大値は次のように求めることもできる。

$$\begin{aligned}\{S(\theta)\}^2 &= a^4 \sin^2 \theta (1 + \cos \theta)^2 \\ &= a^4 (1 - \cos^2 \theta) (1 + \cos \theta)^2 \\ &= a^4 (1 + \cos \theta)^3 (1 - \cos \theta).\end{aligned}$$

$1 + \cos \theta > 0$, $1 - \cos \theta > 0$ であるから、相加平均と相乗平均の関係より、

$$\begin{aligned}\frac{\frac{1 + \cos \theta}{3} + \frac{1 + \cos \theta}{3} + \frac{1 + \cos \theta}{3} + (1 - \cos \theta)}{4} &\geq \sqrt[4]{\frac{(1 + \cos \theta)^3 (1 - \cos \theta)}{27}}. \\ \Leftrightarrow \frac{1}{2} &\geq \sqrt[4]{\frac{\{S(\theta)\}^2}{27a^4}} \\ \Leftrightarrow \frac{3\sqrt{3}}{4}a^2 &\geq S(\theta)\end{aligned}$$

等号成立は、 $\frac{1 + \cos \theta}{3} = 1 - \cos \theta$ のとき。整理して $\cos \theta = \frac{1}{2}$, すなわち $\theta = \frac{\pi}{3}$ のとき。

したがって、 $S(\theta)$ は $\theta = \frac{\pi}{3}$ のとき、最大値 $\frac{3\sqrt{3}}{4}a^2$ をとる。

2 以下の文章を読み、下の問い(問1~3)の各枠に当てはまる符号または数字をマークせよ。

$a > 0$ として、曲線 $y = ax^2 - \frac{1}{a}$ を考える。

問1 曲線上の点で原点 O に最も近い点のうち、 x 座標が正のものを点 P とすると、P の座標は

$$\left(\frac{\sqrt{\boxed{12}}}{\boxed{13}a}, -\frac{\boxed{14}}{\boxed{15}a} \right)$$

である。

問2 $OP = 1$ のとき、 $a = \frac{\sqrt{\boxed{16}}}{\boxed{17}}$ である。

問3 a が問2で求めた値のとき、曲線と OP を通る直線で囲まれた図形を y 軸周りに 1 回転してできる立体の体積 V は

$$V = \frac{\boxed{18} \boxed{19} \sqrt{\boxed{20}}}{\boxed{21} \boxed{22}} \pi$$

である。

解答

問1 曲線 $y = ax^2 - \frac{1}{a}$ 上の点 R $\left(t, at^2 - \frac{1}{a} \right)$ と原点 O との距離が最小値となるときの t の値を求める。

$$\begin{aligned} OR^2 &= t^2 + \left(at^2 - \frac{1}{a} \right)^2 \\ &= a^2 t^4 - t^2 + \frac{1}{a^2} \\ &= a^2 \left(t^2 - \frac{1}{2a^2} \right)^2 + \frac{3}{4a^2}. \dots\dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

よって、OR が最小となるのは $t^2 = \frac{1}{2a^2}$ 、つまり、 $t = \pm \frac{1}{\sqrt{2}a}$ のときである。

ここで、点 P の x 座標が正であることから、 $t = \frac{1}{\sqrt{2}a}$ のときの点 R が点 P である。

よって $P \left(\frac{\sqrt{2}}{2a}, -\frac{1}{2a} \right)$.

問2 ① より $OP^2 = \frac{3}{4a^2}$ である。 $OP = 1$ であるから $a^2 = \frac{3}{4}$ 。

$a > 0$ より $a = \frac{\sqrt{3}}{2}$ 。

問3 $a = \frac{\sqrt{3}}{2}$ から

曲線： $y = \frac{\sqrt{3}}{2}x^2 - \frac{2}{3}\sqrt{3}$, 直線 OP： $y = -\frac{\sqrt{2}}{2}x$

直線 OP と曲線との交点の座標を求める。

$$\begin{aligned} \frac{\sqrt{3}}{2}x^2 - \frac{2}{3}\sqrt{3} &= -\frac{\sqrt{2}}{2}x \\ \iff 3\sqrt{3}x^2 + 3\sqrt{2}x - 4\sqrt{3} &= 0 \end{aligned}$$

これを解くと $x = \frac{\sqrt{6}}{3}, -\frac{2}{3}\sqrt{6}$.

ここで直線 OP と曲線の交点で点 P でない方の点を Q とすると $Q\left(-\frac{2}{3}\sqrt{6}, \frac{2}{3}\sqrt{3}\right)$

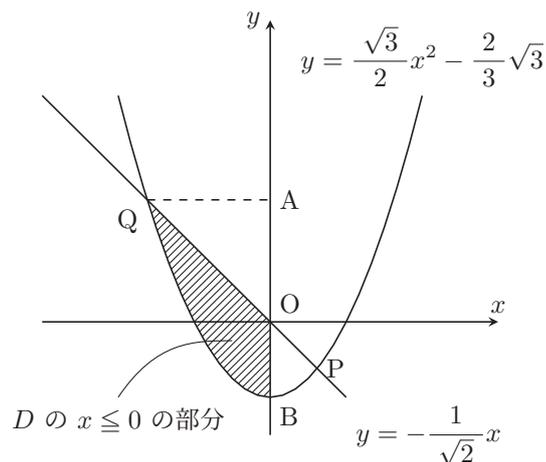
また、図のように点 A $\left(0, \frac{2}{3}\sqrt{3}\right)$, B $\left(0, -\frac{2}{3}\sqrt{3}\right)$ をとる.

直線 OP と曲線 $y = \frac{\sqrt{3}}{2}x^2 - \frac{2}{3}\sqrt{3}$ で囲まれる部分 (D とする) を y 軸周りに回転してできる立体は、D の $x \leq 0$ の部分を y 軸の周りに回転してできる立体である.

曲線 BQ と線分 QA と線分 AB で囲まれた部分を y 軸周りに回転してできる立体の体積を V_1 , $\triangle OQA$ を y 軸の周りに回転してできる立体 (直円錐) の体積を V_2 とすると

$$\begin{aligned} V_1 &= \int_{-\frac{2}{3}\sqrt{3}}^{\frac{2}{3}\sqrt{3}} \pi x^2 dy \\ &= \frac{2}{\sqrt{3}} \pi \int_{-\frac{2}{3}\sqrt{3}}^{\frac{2}{3}\sqrt{3}} \left(y + \frac{2}{3}\sqrt{3}\right) dy \\ &= \frac{4}{\sqrt{3}} \pi \int_0^{\frac{2}{3}\sqrt{3}} \frac{2}{3}\sqrt{3} dy \\ &= \frac{8}{3} \pi \left[y \right]_0^{\frac{2}{3}\sqrt{3}} \\ &= \frac{16}{9} \sqrt{3} \pi \\ V_2 &= \pi \left(\frac{2}{3}\sqrt{6} \right)^2 \cdot \frac{2}{3}\sqrt{3} \cdot \frac{1}{3} \\ &= \frac{16}{27} \sqrt{3} \pi \end{aligned}$$

よって、 $V_1 - V_2 = \frac{32}{27} \sqrt{3} \pi$



3 以下の文章を読み、下の問い(問1~3)の各枠に当てはまる符号または数字をマークせよ。

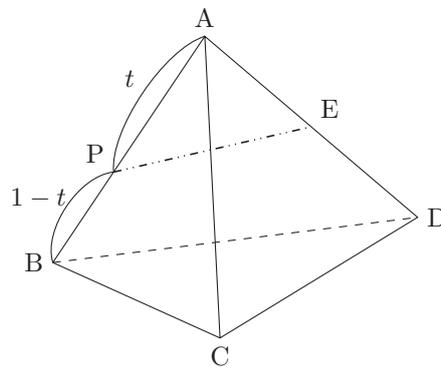
1 辺の長さが1である正四面体 ABCD がある。AD の中点を E, AB を $t:(1-t)$ に内分する点を P とする。ただし、 $0 \leq t \leq 1$ であるものとする。

問1 三角形 CEP の面積を $S(t)$ で表すと、 $S(1) = \frac{\sqrt{\frac{23}{24}}}{\frac{24}{24}}$ である。

問2 任意の t に対し、 $\vec{CP} \cdot \vec{CE} = \frac{\frac{25}{26}}{\frac{26}{26}} (\frac{27}{26} - \frac{28}{26}t)$ であり、 $CP^2 = \frac{29}{26}t^2 - \frac{30}{26}t + \frac{31}{26}$ である。

問3 $S(t)$ は $t = \frac{\frac{32}{33}}{\frac{34}{33}}$ のとき、最小値 $\frac{\sqrt{\frac{35}{37} \frac{36}{38}}}{\frac{37}{37} \frac{38}{38}}$ をとる。

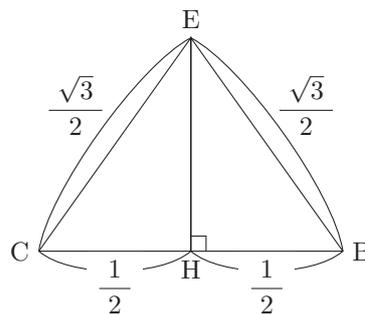
解答



問1 $t=1$ のとき、点 P は頂点 B と一致するので、 $S(1) = (\triangle CEB \text{ の面積})$ である。点 E から辺 BC に下した垂線の足を H とすると、三平方の定理より

$$EH = \sqrt{\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)^2 - \left(\frac{1}{2}\right)^2} = \frac{\sqrt{2}}{2}.$$

よって $S(1) = 1 \cdot \frac{\sqrt{2}}{2} \cdot \frac{1}{2} = \frac{\sqrt{2}}{4}$.



問2 $\vec{CA} = \vec{a}$, $\vec{CB} = \vec{b}$, $\vec{CD} = \vec{d}$ とすると、

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{b} \cdot \vec{d} = \vec{d} \cdot \vec{a} = \frac{1}{2} \dots\dots ①$$

$$\vec{CP} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b} \dots\dots ②$$

$$\vec{CE} = \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} \dots\dots ③$$

①, ②, ③ より

$$\begin{aligned}\vec{CP} \cdot \vec{CE} &= \frac{1}{2} \{ (1-t)|\vec{a}|^2 + t\vec{a} \cdot \vec{b} + (1-t)\vec{a} \cdot \vec{d} + t\vec{b} \cdot \vec{d} \} \\ &= \frac{1}{4}(\mathbf{3} - t).\end{aligned}$$

また,

$$\begin{aligned}|\vec{CP}|^2 &= (1-t)^2|\vec{a}|^2 + 2t(1-t)\vec{a} \cdot \vec{b} + t^2|\vec{b}|^2 \\ &= t^2 - t + 1.\end{aligned}$$

問 3

$$\begin{aligned}S(t) &= \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{CP}|^2 |\vec{CE}|^2 - (\vec{CP} \cdot \vec{CE})^2} \\ &= \frac{1}{2} \sqrt{(t^2 - t + 1) \cdot \frac{3}{4} - \frac{1}{16}(3-t)^2} \\ &= \frac{1}{8} \sqrt{11t^2 - 6t + 3} \\ &= \frac{1}{8} \sqrt{11 \left(t - \frac{3}{11} \right)^2 + \frac{24}{11}}.\end{aligned}$$

$0 \leq t \leq 1$ より, $S(t)$ は $t = \frac{3}{11}$ のとき, 最小値 $\frac{\sqrt{66}}{44}$ となる.

4 以下の文章を読み、下の問い(問1~2)の各枠に当てはまる符号または数字をマークせよ。

1組52枚のトランプを模様(スペード、ハート、クローバー、ダイヤ)ごとに4つの束に分け、それぞれ束から1枚ずつ無作為に引く。そして、スペードの束から引いたカードの数字を a 、ハートの束から引いたカードの数字を b 、クローバーから引いたカードの数字を c 、ダイヤの束から引いたカードの数字を d とする。

ただし、J(ジャック)は11、Q(クイーン)は12、K(キング)は13であるものとする。

問1 $a + b + c = 6$ となる確率は $\frac{\boxed{39} \boxed{40}}{\boxed{41} \boxed{42} \boxed{43} \boxed{44}}$ である。このとき、積 abc の最大値は $\boxed{45}$ であり、最小値は $\boxed{46}$ である。

問2 $a + b + c + d = 8$ となる確率は $\frac{\boxed{47} \boxed{48}}{\boxed{49} \boxed{50} \boxed{51} \boxed{52} \boxed{53}}$ である。また、 $a + b + c + d = 8$ であるとき、積 $abcd$ が最小となる確率は $\frac{\boxed{54}}{\boxed{55} \boxed{56}}$ である。

解答

題意より $1 \leq a \leq 13, 1 \leq b \leq 13, 1 \leq c \leq 13, 1 \leq d \leq 13 \dots\dots ①$

問1 $a + b + c = 6$ となる自然数 (a, b, c) の組み合わせは全部で ${}_5C_2 = 10$ 通りある(すべて①をみたま)

10通りそれぞれが起きる確率は等しいことから、 $a + b + c = 6$ となる確率は $\frac{10}{({}_{13}C_1)^3} = \frac{10}{2197}$ 。

次に、 abc の最大値と最小値について、 $a \leq b \leq c$ としても一般性は失われない。

$a \leq b \leq c$ かつ $a + b + c = 6$ となる (a, b, c) は

$$(a, b, c) = (1, 1, 4), (1, 2, 3), (2, 2, 2).$$

である。

よって、 abc のとることができる値は4, 6, 8であることから abc の最大値は8, 最小値は4となる。

問2 $a + b + c + d = 8$ となる自然数 (a, b, c, d) の組み合わせは全部で ${}_7C_3 = 35$ 通りある(すべて①をみたま)。

35通りそれぞれが起きる確率は等しいことから、 $a + b + c + d = 8$ となる確率は $\frac{35}{({}_{13}C_1)^4} = \frac{35}{28561}$ 。

さらに、このとき、 $abcd$ が最小になるときを考える。 $a \leq b \leq c \leq d$ としても一般性は失われない。

$a \leq b \leq c \leq d$ かつ $a + b + c + d = 8$ となる (a, b, c, d) は、

$$(a, b, c, d) = (1, 1, 1, 5), (1, 1, 2, 4), (1, 1, 3, 3), (1, 2, 2, 3), (2, 2, 2, 2).$$

したがって、 $abcd$ のとり得る値は5, 8, 9, 12, 16であることから、 $abcd$ の最小値は5。

よって $(a, b, c, d) = (1, 1, 1, 5), (1, 1, 5, 1), (1, 5, 1, 1), (5, 1, 1, 1)$ の4通りのときに、 $abcd$ が最小となる。 $a + b + c + d = 8$ であるとき、積 $abcd$ が最小になる条件付き確率は、

$$\frac{\frac{4}{28561}}{35} = \frac{4}{29561}.$$

講評

昨年度と比較すると難化した。大問1の(2)と(3)で動揺した受験生も多かったのではないかと。大問2と大問3も後半は計算量が多く、手際よくこなしていかなないと高得点は取れない。その中でも、大問4が完答しやすかったと考えられる。60分という短い試験時間と計算量などを考えると、一次突破ラインは65%程度と考えられる。

本解答速報の内容に関するお問合せは

 **医学部専門予備校**
YMS
heart of medicine
☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木1-37-14

医学部進学予備校 **メビオ** ☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校
英進館メビオ 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録またはLINE友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE登録

